

# GKP下水道を未来につなげる会 in 同志社大学（2025年1月16日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和7年1月16日に同志社大学にて出前講座を行いました。昨年に引き続き、赤尾教授に御協力頂き、2回目の開催となりました。

同志社大学3～4年生約30名が参加し、GKPの説明や、京都市における下水汚泥の有効利用についてグループワークを行い、学生どうしで活発な議論が行われていました。

## [実施概要]

講座名：GKP下水道を未来につなげる会 in 同志社大学

日時：2025年1月16日（木） 9時00分～10時30分（90分）

場所：同志社大学 京田辺キャンパス

対象：同志社大学 大学3～4年生 約30人

実施内容：GKP未来会の紹介

下水道の役割・職種の紹介

グループワーク：「京都市の汚泥有効利用を考える」

参加団体：京都市、日水コン、三水コンサルタント、極東技工コンサルタント、日本下水道新聞、水道産業新聞、西原環境、水ingエンジニアリング

## <学生より>

下水は「汚い、臭い」というイメージを持っていたが、非常に重要な役割を果たしていると感じ、また、下水汚泥を活用できれば持続可能な社会に貢献できると感じた。下水道を通して、自分が生まれ育った京都市の街づくりに貢献する仕事をしてみたいとなった。



▲グループワークの様子

▲発表の様子